【許可郵便物認可　昭和十一年十二月二十二日　磐城新聞　第四千七百八十四號　(一)】

夕刊

磐城新聞

十一月二十一日發行

(日曜祭日翌日休刊)

定價一ケ月金五拾錢　廣告料金一段通常金六拾錢　社告金九拾錢　(但し一字詰一行金拾錢)

編輯印刷兼發行者　柏田十六　發行所　磐城新聞會社　發行所　磐城新聞會社　電話五六四番　振替東京一〇八五五六番

八日の日

高瀬勝男

あれこれと書いてゐるうち妙、そして骨折つて技術する日が去つた、皆等がこの日るの印象がうすくなつた頃に八日一杯の雜記をやる

曇つた日だつた、目も鼻んに、姑息、低徊の傾きあもすつきりしてゐなかつたりといふが如何、構圖に於それに夜更の癖は爲められてもう一歩出でゝつかみどない、毎日可愛い女房があころあり、なんといゝたいれば別だが、だから午前中誰か勇敢なる戰士出でて旺は腹具合も落付きなく、氣んなる意氣を見せて仕事のばかり焦らつく、寫眞展、創造性を發揮してほしい敎員展、磐中X展、これで常道から脫線したるが如美人競艷會とそろうとはりき、構圖への素材を扱ふ御合つた一日、慾根性にもた仁なしやと思ふまらない、それとこれと日金賞とか佳作とか小生の曜日、秋、感傷の關際に、性にあまりに誓約的な存在でも皆うれしく拜見し、久だけ、尤もむづかしい專門しぶりの好日各主催者側に でも甘んじで享けること有りがとうといひたい

菊咲くと何、忙しくなる近頃だ、南賈は印刷屋、趣味に書をかく、勝男、觀なまゝ順々に概評することを許容あれ

寫眞展

趣味といふ心の樂しみはなんでもみせたり、きかせたりしたいもの、この鄕本人の趣味に立ち入つてあれこれいふと、角たてゝ抗辯がでるもの、だから評は禁物、私は斯く感じたまゝなりと、脈から遠慮して、簡單に

そもそも機械の知る感度といふ奴、この性能は又微

的約束を全然知らない譯だから

然しながらなる、成程とうなづく作品のなかに、のみこめない氣持になつたのもあつた

正直のところ、そう偶然による仕事の上の收穫に期待はかけられない、こゝでは創造の國激は波紋に似てあまりに類型化されてゐる

敎員展

寸暇あれば、何かに寸暇を費す人情といふ奴、給料をもらつてゐて、尙お金にありつこうとする氣持、現在の様な社會狀勢に於ては不思議なものではない

給料と報酬が人間の發展

金賞とか佳作とか小生の様な門外漢なる程うなづくだけ、尤もむづかしい專門でも甘んじで享けること

今日の訓へ

哲名山人

二

人として道を得ることは恰も鳥の風に飛び翔り、魚の水に游ぎ住めるが如し、猶、鳥の風に飛び翔りて風を知らず、魚の水に游ぎ住んで水を知らざるが如くである、然れどもその風を離れては、鳥の飛ぶこと能はず、水を離れては、魚の游ぐこと能はず、道を離れては人の立つこと能はざると同じである。故に、中庸に

も『道は須臾くも離るべからず、離るべきは道に非ず』と

『背た腹は代へられない』といふが、然し腹さへ膨れれば背中は要らないと思ふのかなしみに『諦』と言はら晩まで、苦蟲をかみ潰し會から、この世から消して了つた。これは政友會にとつて大きな損失であるばかりでなく、內閣にとつての堤の一穴であつた

司法大臣の後任を、內閣は尙政友會に求め、やがて小川平吉がその椅子に就いた。かくて內閣は現狀を維持し得た

磐城歌壇

新妻久滿男選

『母に題す』　水野磐陽

○殘業を終て歸れば母一人、寢もやらずして待ちて居給ふ

○若き日は美しかりと言ふ母の、みる影もなく貧に老いたり

○我が母は庭に咲きたる紫陽の、散りにし頃か遠旅に出ぬ

○蟋蟀の鳴けば忘れし慈さへ、想ひ出だされる秋の野の月

○古傷の痛くし病めば過ぎし日の、巢しきことも夢に見えつゝ

○白菊に月おし照れる夕暮は、亡き母の面の想はるるかも

小評　もつと精細に物をは握しなければならない。概念的になつてゐる。四、五同證據の點について訂正して置いた。あまり感傷的方面にばかり歌をのばさないで寫生の歌を心がけては如何。

爲久留島先生開感謝會席上賦呈

珠雲　小野務平

言詞懇切凛如霜　益世感人知幾場　啓沃憲陶三十歲　洪勳不朽仰嶙長

雨垂れよ

辰巳和子

雨垂れよ
しづくするなら
ひそやかにせよ
眼つむりて
過ぎしひと日
み返りて悔い殘す日もあれば
ほと〳〵と
雨垂れのしづくする夜は
胸迫る思ひもあるに——
雨垂れよ
しづくはするも
我が心の扉
悔いよとは打てな
點滴のひゞきに
希はくは
明日の日の希望の扉
打ちて示せよ
しづやかに
されど强くも……

高橋是清

(174)　松浦泉三郎作

佐々木今朝吉畫

政戰表裏　(一)

誰憲三派內閣の第一の功勞るものの主要部分は悉く憲政會に依つて占められてゐる。自黨からは首腦幹部成つた。是清はこれを機會に政友會總裁と同時に商工大臣の職を辭すべく決意した

三月三日、是清は番町の私邸に加藤首相を訪問、その意を傳へて同時に、陸軍大將田中義一男を後任總裁に推薦すべき事を談じた

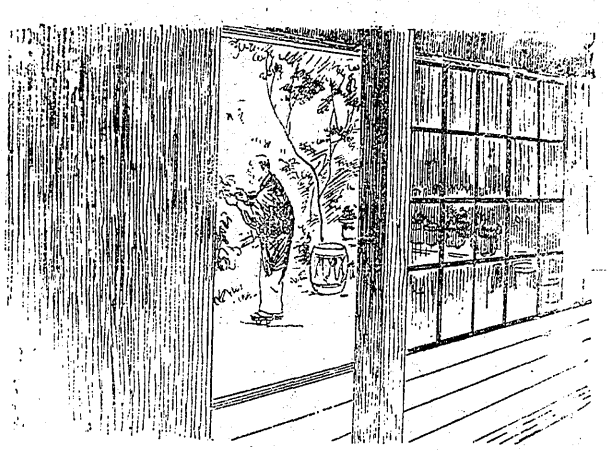
加藤首相は默々として聽き默々として首肯いた

かくて是清は退き、田中新總裁が登場した。加藤首相は數回に亘つてその入閣を交涉したが田中男は遂に受けず、その代りとして副總裁野田卯太郎及び岡崎邦輔を推擧した。十七日野田商工大臣、岡崎農林大臣の親任式は執り行はせられた

是清は閑雲野鶴の身となつた

聲明書——

『顧るに予頽齡七十一、氣力復た昔日に非ず、乏しきを我が立憲政友會總裁の任に受くると雖も固より資格の之れに適ふものなし、曾て志を當世に絕ちて老來永く自由の身たらん事を願ふに方り、故原君不測の遭難に會し、偶然の運命は予が風月の素願を禁じて現在の境遇に復せしめたり。如何にせん微力薄德事志と違ひ、寸毫の愛憎に安からず、一日を經る毎に愛憎一塵の霜摧をくの事なき能はず



一大進歩であり、これを敢て轉換すべきか、然らずばこゝ暫らくあてがい扶持にした事は內閣として大きてしたる功績にもがひなかつた。第五十議會は全國民の注視と喝采の標的となつた

その內閣に、やがてちらと暗い影がさした。司法大臣橫田千之助の死である。三派聯立の楔子であり、政友會の知慧袋であり、是清の總裁をいだいてゐたので(正直一圖で策のない高橋は、この際どうする事も出來ず)それが彼等の腹だつだ。

11月22日　△實朝宋人に大船をまらないのは政友會の內部だつた。政友會は今、永年先づ總裁の更迭だ。何事も

11月24日　建造せしむ(建保四)　△寶永山噴火(寶永政敵として戰つて來た憲政それからの事だ。——そし

四)　△六大學野球リーグ會と表面手を握つて靜まつてはゐるが、その實心中は

紛擾圓滿解決(昭和八)

小說

新築落成

……大衆奉仕を……念願とし社會中層の御相手旅館としてやよひ館の名の下に營業を開始致しました。

……眺望並に清新……の氣分に於て他に遜色なく旅の御疲れを慰むるに適當な處と存じます。

……室貸を主とし……經營致します故御食事は御自由です

※茶代は勿論申受けません。

何卒御引立の程を願ひます。

平郵便局通り　(電七六番)

やよひ館

雨垂れよ

辰巳和子

雨垂れよ
しづくするなら
ひそやかにせよ
眼つむりて
過ぎしひと日
み返りて悔い殘す日もあれば
ほと〳〵と
雨垂れのしづくする夜は
胸迫る思ひもあるに——
雨垂れよ
しづくはするも
我が心の扉
悔いよとは打てな
點滴のひゞきに
希はくは
明日の日の希望の扉
打ちて示せよ
しづやかに
されど强くも……

吸入用酸素　純度99%

度量衡　モーサシ　マス　ハカリ

計量器　體溫器　寒暖計

杯ノ取　繩・糸・條　重ニ復致シマス

開業　內藥局　電話四〇番

新築落成

……大衆奉仕を……念願とし社會中層の御相手旅館としてやよひ館の名の下に營業を開始致しました。

……眺望並に清新……の氣分に於て他に遜色なく旅の御疲れを慰むるに適當な處と存じます。

……室貸を主とし……經營致します故御食事は御自由です

※茶代は勿論申受けません。

何卒御引立の程を願ひます。

平郵便局通り　(電七六番)

やよひ館

時代の要求皆樣の足!!

尼子タクシーへも

豆タクが入りました。

御玄關から玄關へ……迅速簡便

是非御利用を……。

市內…三〇錢　市外…四割引

流線型セダン、大型貸切バス

官行一直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。

平町二丁目

尼子自動車商會

電話六四〇番

平町田町(電話五三一番)

高久病院

醫學士　高久忠

新潟醫學士　赤羽清

藥劑士　佐竹菊雄

內科　小兒科

外科　花柳病科

耳鼻咽喉科

レントゲン科

美味デ滋養分豊富ナ

にんべん

新鰹魚節

ガ出來マシタ。

宍戸屋商店

平町四丁目

電話(鹽干部)二一五番　(鮮魚部)四〇七番

日華生命保險株式會社代理店

外務社員募集

(委細面談)

開院

皮膚科

泌尿器科

性病科

專門

診療時間　午前八時ヨリ午後九時マデ

平町田町舊山內醫院跡

江尻醫院

電話六九一

醫學博士　江尻伊三郎

入院隨意

ぎつねぽ

平町公園下

桑原柔道整骨院

電話六七四

神經痛　リウマチス　オレンヂ　パスタ

今冬の流行物

澤山入荷致しました……

洋服は高島屋

注文並に既製品

高島屋洋服店

平町二丁目電話三八六番

夜間診療

內科　胃腸病科　專門

花柳病科　性病科　皮膚科

性病

松村胃腸病科醫院

(平町南町電一〇七番)

難波醫院

內科　小兒科

入院應需

自炊の便あり

醫學博士　難波睦

平町大町

電話五〇二番

(看護婦見習、看護婦募集)

左黨憂鬱

貸賣りが出來ぬ樣　納稅の制度が變る

醸造家にも惱みの種

郡下卅五軒の

理くつ上實際詮衡が行はれず別段の面倒い巨額な丈けに其間矢繼早は各消費者のあたまに轉嫁するとは謂へさらでだに其の都度大金の調達に惱みつゝある酒造家當面の納稅異變を來すではないかと豫想さるる意味に於て既報した酒類販賣の免許制度は愈よ明年四月より實施さるる事となつた。即ち現行法では前年度の醸造に對して稅金は次年度に後納する事となつてゐるので商品の現金化、或は賣掛け代金の回收等其間の敏捷を失はぬ事によつて年四回の受難期を突破する事も出來たのであるが、新法による藏出し品に對しては二ケ月毎に課稅を受くる事になるので、過渡期に於て何等かの特例を認められぬ限り來春早々年中を通じて最大の苦難期である二月の本年度第三期分、三月の同四期分に引續き爾後二ケ月毎に新規藏出しの課稅を受くる事となるので稅金の調達上勢ひ醸造元から小賣店へ、小賣店から消費者への掛け賣りは從來程緩漫なわけには行かず、之の段階的督促は新法の實施により可なり嚴重を加へるものと觀られてゐる、因に小賣りの免許に對しては

本法施行前引續き酒類を販賣する者本法施行後一定期間(研究中)にその旨長田淵齋郎氏は初巡視のた政府に申告するときは本法により免許を受けたるものゝ如く看做すとあるので、從來の店舗に就いては此際資産信用等の供覽期間中異議を申立てた

唱歌教育研究會講習

明日から二日間平第一で

出席百名を突破

唱歌教育研究會石城支部では明二十二、三の兩日平第一校に講習會を開くが今二十一日午前中迄の申込み百名を超へ盛會を豫想されてゐる、講師左の如し

△上田友龜　東京市視學・簡易樂器による音樂生活指導の主張者

△瀨戸尊　東京麻布校唱歌專科訓導、兒童への實地授業の第一人者

昭和人絹に入れ

芝浦製作

不採用者にのべ

平紹介所の救ひの手

平職業紹介所では此程行はれた芝浦製作所の見習職工採用試驗に應募、惜しくも不採用となつた百餘名が殆ど失職してゐる者なのでこれらに對し救濟の手を延べる事となり今二十一日目下職工募集中である昭和人絹工場への仕込み方を懇請した激勵の手紙を夫々發送した

田淵仙臺土木所長

近く初巡視

新任內務省仙臺土木出張所長田淵齋郎氏は初巡視のため來る二十八日來郡する

選擧人簿

平町の選擧人名簿に新登錄

新樣式の設計で　植田校講堂完成

早くもピアノ購入準備

植田町成瀨組調負ひで新築中の植田小學校講堂は愈よ今明日中落成、明後廿三日付けのピアノを購入すべく町會議員に學務委員その他關係者立會ひ竣工檢査を行ふ事となつたが學務委員其他有志は新裝の講堂に備へ今明日中落成、明後廿三日付けのピアノを購入すべく町會議員に學務委員その他關係者立會ひ竣工檢査を行千五百圓見當であると

モー公の失策？

三頭貨車から墜落

昨夜七時頃、常磐線上り貨物列車が神谷村中神谷地內にさしかゝつた際輸送中の牡牛一頭が墜落即死、更に綴一白水間踏切り地內、同區間傾城トンネル內の二ケ所で各一頭が同樣墜落瀕死の重傷を負つた、この牛は北海道野付牛牧場から今二十一日午前十時から開中にあつたもの、平署で檢道に交涉引渡した

電柱移轉

交涉

來廿六日兩者會見

過般來平町で交涉を進めてゐた第四小學校敷地の鷺炭側から移轉豫算書が送られるのでこれに基き愛二十六日委員一行が炭礦側と會見交涉を進める事となつたが愈よ近く兩者の負擔額が決定されるらしい

第四校敷地の

平町三丁目カフエー太陽事

平二校の個人賣左の如し

△第一校　尋一—市原卓耶

三—山崎惠一　四—市原二良　五—藤居喜一郎

磯山一郎　六—石川榮一

高二—寺門武彥

△第二校　尋一—穴井美子

高野光子　二—石川美子

四—鈴木千惠子　五—鈴木靜　六—千葉怜子　高一—阿部英子

狡い肉屋

湯本町三函食肉商武田綵(四七)は去る十二日磐崎村下湯長谷磯上宮太郎方の豚(二十三圓)が病氣なのを聞き込み、どうせ死ぬのだからとケシをつけてこれを詐取した事發覺、二十日平署に檢擧

煙草値上げの其後

大局から見れば　先づ變動はない

專賣平出張所の觀測

抜き打ち的の煙草値上げ後早くも十日——其後の『タバコ界』はどうだらうか？

さしたる反映はないと語つて居る、將來多少の變動を見越しても今年度分なので局部的には變動や商景氣等によりはや昨年同期より二萬七千餘し年度の六十八萬二千三圓增の四十萬八千二百六九十八圓とは大した差異は十五圓に上つて居るので昨ないだらうと見て居る

小賣店の悲鳴！

小賣店には少らず『値上げの反動』が起いて居らしく平町の某店では

——バットは流石に一錢値上りしても依然變らない、一番利いたのは朝日ですよ、何せ二錢値げの十七錢ですからね、それにチエリー、エアーシップも以前と比べてグーッと減りまして……

と傍の『朝日の山』を見つめてユウウツ顏だ

晩秋初冬の展望

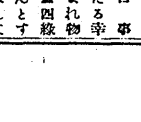
○　△　生——

『爆彈・不信任案、市長へ面に課されたる唯一の退陣を迫る、けふ風雲孕む郡山初市會』『後任町長決定に、困る中村町、無責任な町會に非難』——一寸某られる程の問題でなし、彼此の驛版を見た丈けでも斯うした大きな活字がいともきだ多彩的に躍つてゐる。そこへ行くと我等の平町には當いた結果、來る二十五日磐炭側から移轉豫算書が送られるのでこれに基き愛二十六日委員一行が炭礦側と會見交涉を進める事となつたが愈よ近く兩者の負擔額が決定されるらしい

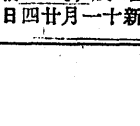
○

尾去澤の大慘事に比べて愛炭礦地帶のチフス位騒めぬ樣氣をつけろ、眞直に進むものは鳥しかない』これはロシアの格言でありスターリン氏の主義でもあるそうな。斯んな事を誇け貰りしたら時節柄一寸鬱惑するのは候補者の露骨な角つき合ひだ。例を當り障りない方面に求めるが、過般の米大統領選擧で民主黨のルーやうによりてはどうにもならう。直ぐそれと竝んで『濱は鰯の山、連日の大漁に活況』だの『ブラック・ダイヤの奔躍』なんて禍福版事態調に追み難く不安の日▲四綠禍福に反かれ次第に衰微せんとする運運日▲五黃　障害を屈伏して大に努力すれば成績吉し▲六白不動不屈の精神を以て本業に盡力すべき日▲七赤　不運も幸運に向はんとす愼重に事を謀れ吉▲八白志望窓志通りに行はる開店婚儀普請凡て吉▲九紫　輕率に陷り易く人のため慮に乘ぜらるべし

▲一白　默默なるうちにひん斥せられ信用を落すべき日▲二白　事業は次第に擴張せられ優勢たる幸運の日▲三碧　感覺なはさまれ物事順調に進み難く不安の日▲四綠



舊日曜新
十己酉十
一月先勝月
廿朝三
日危宿日



舊火曜新
十庚戌十
一月友引月
閉一
室宿日

情死男山口正男

磐中に關係無い

東京で悲戀を淸算

三名に對しても近く決定する

○

木村技師來郡　縣土木課木村技師は來る二十六日來會支部の坪刈り品評會は同郡、勿來町九面海岸、小濱日行つたが出品二十點漁港等を視察する

○

坪刈品評會　山田村の坪刈品評會の審査を二十日行ひ出品七十點に對し入賞二十點

一犯當り約六ケ月

七犯のスリに懲役四年

去る六日二十三夜尊祭典の雜沓で拘模を働いた山形縣最上郡戶內町生れ前科七犯やいたが四年を言渡され平塚村澁川字西ノ內農朝田義祐內妻伊東ハルヨ(四二)は今二十一日平支部中島裁判長から懲役八年を言渡された

愛婦會員に感謝狀

會中町分會左記會員は多年會務に盡力した廉により伊藤支部長から記念品に添へ感謝狀を贈られた

愛國婦人　門傳登美乃　山崎菊子　大和田コト子　正木包子　猪狩シゲ子　遠藤トリ子　岡田仙子　大橋昌子　山崎キン子　三井ミキ子　猪野キヨ　藤田ミイ　藤繕職工と駈落ちし水戶から抱主に詫び狀を送つて行方を晦したので平署で手配中

石川ふさ子女史講演會

郡第三區女教

佐藤千代吉(六五)は今二十一日平區の公判で懲役八年を

一犯當り約六ケ月

七犯のスリに懲役四年

去る六日二十三夜尊祭典の雜沓で拘模を働いた山形縣最上郡戶內町生れ前科七犯やいたが四年を言渡され平塚村澁川字西ノ內農朝田義祐內妻伊東ハルヨ(四二)は今二十一日平支部中島裁判長から懲役八年を言渡された

闇の女駈落ち二題

きのふ公休日の騒ぎ

平町三丁目カフエー太陽事

平二校の個人賣左の如し

△第一校　尋一—市原卓耶

三—山崎惠一　四—市原二良　五—藤居喜一郎

磯山一郎　六—石川榮一

高二—寺門武彥

△第二校　尋一—穴井美子

高野光子　二—石川美子

四—鈴木千惠子　五—鈴木靜　六—千葉怜子　高一—阿部英子

書方展

入賞氏名

縣女子師範附屬小學校の縣下小學校書方展覽會に郡下で平第一、同第二、磐崎尋高の三校が學校賞を得たが平二校の個人賞左の如し

△第一校　尋一—市原卓耶

三—山崎惠一　四—市原二良　五—藤居喜一郎

磯山一郎　六—石川榮一

高二—寺門武彥

△第二校　尋一—穴井美子

高野光子　二—石川美子

四—鈴木千惠子　五—鈴木靜　六—千葉怜子　高一—阿部英子

天氣豫報

(小名濱測候所調)

今晩は北西の風曇、明日は北西の風曇雨模樣

太郎方の豚

工場員見習募集

小學校卒業程度にて十五六歲位の者　一名

希望者履歷書持參あれ

本社

婴兒殺し

求刑三年

夫の前を氣兼ねし

不幸の婴兒殺し双葉郡長

大局から見れば　先づ變動はない

專賣平出張所の觀測

さしたる反映はないと語つて居る、將來多少の變動を見越しても今年度分なので局部的には變動や商景氣等によりはや昨年同期より二萬七千餘し年度の六十八萬二千三圓增の四十萬八千二百六九十八圓とは大した差異は十五圓に上つて居るので昨ないだらうと見て居る

キザミへ轉向か？

煙草値上げの置き據

いくら値上げされてもこれを契機に『斷然やめる！』と云ふのは少くとも愛煙家に取つては大英斷だ、それで今度の値上げにより据置きとなつたキザミに轉向者が出るだらうと云ふのが一般の觀測ではあるが、今年の春に至つては一層その傾向が目立つてゐた處もある

學校荒し

一年

學校專門に荒した茨城縣筑波郡島名村生れ前科一犯根本正(二五)は今二十一日平區の公判で求刑通り懲役一年を言渡された

二十二日

(小名濱測候所發表)

日出　六、一九　月出前一、五八
日沒　四、二七　月沒後一、四六
滿潮前九、五五　千潮前二、三〇
後八、五五　後三、一〇

二十三日

日出　六、二〇　月出後　〇、三〇
日沒　四、二六　月沒　——
滿潮前一〇、三五　千潮後三、三五
後一〇、五五　千潮後五、〇〇

二十四日

日出　六、二一　月出後　一、〇三
日沒　四、二六　月沒前　〇、五二
滿潮前一一、二〇　千潮前四、五五
後——　千潮後六、二五

舊日曜新
十戊申十
一月赤口月
九收
日虛宿日

舊月曜新
十辛亥十
一月小吉月
廿一
日室宿日

毎月一日十五日謝恩デー（元價）

毎度ありがたう御座います

バターの本場　北海道修道院

バターの王樣　天女の作つた

——トラピストのバター——

一度御試食をねがひます。

品質本位で安く賣る　市川のパン

アンパン（食パン）七ケ拾錢　黒パン（一斤拾二錢）

甘食　ロシヤパン

平町驛前通り

バター　雪印（罐詰）封度1/2 平八錢　同1/4 平四錢（ニ折詰（カート入）1/2 平二錢　1/4 一七錢　1/8 十五錢　其他人造バター　ジャム（罐詰）九錢ヨリ

御家庭御料理用……德用

バター百匁二十五錢　ジャム同二十五錢

内臟外科一般（入院隨意）
外科花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九